

## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」の状況報告

5月27日に全国の小学校6年生を対象に学力・学習状況調査が実施されました。8月31日に公表された結果を受けて、港小学校の状況をお知らせします。なお、この調査は6年生のみの調査であり、学力も国語・算数のみの調査です。この調査結果が、子どもたちのすべての学力や生活の様子を表しているわけではありません。

### 1 各調査結果より

#### <国語>

- できていた領域 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「読むこと」
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
  - ・文の中における修飾と被修飾との関係を捉える。
  - ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つける。
- △課題がある領域 「書くこと」「話すこと・聞くこと」
- ・目的や意図に応じて、理由を明確にしながらか、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
  - ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える。
  - ・資料を用いた目的を理解する。

#### <算数>

- できていた領域 「数と計算」「図形」「測定」
- ・示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる。
  - ・二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる。
  - ・三角形の面積の求め方について理解している。
- △課題がある領域 「データの活用」「変化と関係」
- ・データを二次元の表に分類・整理することができる。
  - ・速さを求める除法の式と商の意味を理解している。
  - ・速さが一定であることを基に道のりと時間の関係について考察することができる。

#### <質問紙>

- よかった点
- ・朝食を毎日食べ、同じくらの時刻に寝て、同じくらの時刻に起きている児童が多い。
  - ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていると感じている児童が多い。
  - ・読書が好きな児童が多い。
  - ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている児童が多い。
  - ・国語や算数の勉強は大切と考え、学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思っている児童が多い。
  - ・算数の勉強が好きで、授業はよく分かると感じている児童が多い。
- △改善したい点
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている子が少ない。
  - ・自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができず感じている児童が多い。
  - ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じている児童が少ない。
  - ・学校の授業時間以外に勉強している時間が短く、家で学校の授業の予習や復習をしている児童が少ない。

### 2 今後の本校の取組について

#### 学校で力を入れたいこと

- ・引き続き、読書活動を継続して読書好きを増やし、場面の様子や気持ちを考えることのできる児童を増やす。
- ・根拠のある考えをもたせるために、学習活動において、具体物を用意したり、体験活動をしたりして自分の考えが伝わるように発言する場を設定する。
- ・授業計画を立てて学習に見通しをもち、児童にとって分かりやすいめあてを立てたり、個に応じた支援をしたりする。
- ・学習指導の過程において、仲間との関わり方を工夫し、話し合う活動を通して考えが深まるように努める。
- ・引き続き、算数の少人数指導を充実させ、個々に合った指導法を工夫する。

#### 家庭にお願いしたいこと

- ・元気に学校生活を送れるように、引き続き、児童の健全な生活リズムを整える。
- ・家庭学習に進んで取り組むことができるように家庭で学習する習慣の定着を図る。
- ・テレビやゲームの時間、携帯やスマートフォンの使い方など、約束事項を再確認し、家庭学習の時間を確保する。
- ・学校生活に前向きに取り組むことができるように、学校での出来事について親子で話をし、温かい励ましの言葉をかける。
- ・目標をもって学校生活を過ごせるように、親子で話をする機会をつくる。

今後も学校と家庭・地域が協力して、子どもたちを育てていきたいと思ひます。  
ご協力をお願いいたします。